

分担金・拠出金の名称	世界遺産基金分担金	評価	B
拠出先の国際機関名	国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)		
国際機関の概要	国連教育科学文化機関(ユネスコ)は、教育、科学及び文化を通じて諸国民の間の協力を促進することによって、平和及び安全に貢献することを目的としており、教育、科学、文化等の分野における国際的な知的交流事業や途上国への開発支援事業を実施。現在195の国・地域を擁する機関となっている。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標		達成状況	
1. (1) 成果目標:世界遺産委員会の活動を通じた我が国の重要外交課題の遂行 活動指標:世界遺産委員会の活動を通じた我が国の外交政策課題への貢献		世界遺産条約は、普遍的価値を有する文化遺産及び自然遺産を人類共通の遺産として国際的な枠組みで適切に保護することを目的としており、本分担金により、世界遺産一覧表の作成を含む条約の運用に係る諸活動や、重大で特別な危険にさらされている世界遺産の保護事業等が実施されている。	
(2) 成果目標:機関等の意思決定における我が国のプレゼンス 活動指標:世界遺産委員会における議席・影響力の確保		我が国は、条約の運用を担う世界遺産委員会の委員国に3回当選し、積極的な貢献を行っている。また、2014年の世界遺産委員会では、副議長を務めた。これらの貢献は、世界遺産を巡る国際協力体制の運営に対する我が国の発言力確保に直結している他、我が国は、現在実質最大の分担金拠出国として、重要な役割を果たしている。	
(3) 成果目標:機関等の専門分野等における影響力や組織・財政マネジメント等 活動指標:世界遺産基金の財政運営の改善		世界遺産委員会において、本件分担金の具体的な使途や使途毎の予算配分について決定されるところ、委員会での作業部会を通じて、堅実な財政運営への取組みが行われている。	
(4) 成果目標:機関等における邦人職員数 活動指標:ユネスコにおける邦人職員数の増加、邦人職員増強に向けた取組		邦人職員数(専門職以上)は、平成25年度は53人、平成26年度は48人で推移(なお、ユネスコ職員数(専門職以上)は過去2年で約50人削減)、4.7%以上を維持している。右数にはD1ポスト(ニューデリー所長)が含まれる。また、ユネスコに対しては、我が方日本国政府代表部を通じて、邦人職員の増強に向け、定期的に意見交換や申し入れ等行っており、邦人職員増強に向けた取組を進めている。	
2. PDCAサイクルの確保		①Plan:世界遺産委員会において二か年予算案を策定。同委員会において予算案の承認。②Do:我が国の分担金支払及び事業の実施。③世界遺産委員会の成果報告及び各国のチェック。④Act:世界遺産委員会での議論を通じて要望事項等の申し入れ。	
担当課・室名	外務報道官・広報文化組織 国際文化協力室		